

射水市スポーツ推進審議会議事録

1 会 議

期 日：令和5年11月1日（水）13：30～15：00

場 所：射水市役所会議室401

出席者：

（委 員） 川腰会長、古城副会長、大森委員、清水委員、
竹林委員、寺島委員、星野委員

（アドバイザー） 富山大学教育学部神野准教授

（事務局） 金谷教育長、久々江教育委員会事務局長、
遠藤教育委員会事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）、
鳥本課長補佐（生涯学習・スポーツ課スポーツ推進係）
川淵係長（学校教育課学校教育係）
荒木主査、谷主任、沼田主事、岡本主事
（生涯学習・スポーツ課スポーツ推進係）

2 概 要

- ・開会のあいさつ（金谷教育長）
- ・議事進行（川腰会長）
- ・閉会

・審議事項

（1）第2次射水市スポーツ推進計画について

- ・スポーツに関する意識調査（競技団体）の結果について
- ・委員から意見のあった事項への対応について
- ・計画素案について

・スポーツに関する意識調査（競技団体）の結果について

【委員からの意見等】

（委員）

選手数の増減について、近年スポーツの種目が多様化しており、分散していることも考えられる。また、少子化が進んでおり統合も必要になってくると実感した。

・委員から意見のあった事項への対応について

【委員からの意見等】

（委員）

スポーツ推進委員は、市政出前講座や小学校等の親子活動に協力しているが、その活動が1回限りではなく、地域に根付いて継続して活動が行われているか知りたい。

(事務局)

1度市政出前講座でボッチャを体験された地域では、とても楽しかったため地域でボッチャセットを購入し定期的に行っているという話を2地区から聞いている。また、出前講座でも1回に限らず、違うニュースポーツの種目を行いたいと申請があった。さらには、住民運動会の代わりにニュースポーツの大会を開いたという話も伺っている。スポーツ推進委員協議会ではニュースポーツの用具も貸し出しを行っている。

・計画素案について

【委員からの意見等】

(委員)

今後の持続的なスポーツ振興のため、指導者の確保・育成に関する具体的施策として、指導者資格の取得・維持にかかる費用の助成するというのはどうか。また、総合型地域スポーツクラブの加入者増加に向けて、中学校の地域部活動の移行に特化した教室を展開してもよいのではないか。近年、ニュースポーツのほかにアーバンスポーツに取り組む人も増えているため、その表記があっても良いと思う。

(事務局)

指導者の確保・育成に関する具体的施策について、様々な指導者資格があり、公平性の観点から、資格の助成は難しい。費用の軽減ではなくまずは指導者養成の部分に力をいれていきたい。また、中学校の地域部活動の移行に関して、本市地域おこし協力隊員が総合型地域スポーツクラブと連携し、小学6年生を対象としたスポーツ体験会の実施を検討している。

(委員)

SDGsの視点があってもよいのではないか。

(事務局)

計画への反映を検討していく。

(委員)

部活動だけでなく、スポーツ少年団でも指導者資格の問題はある。負担の軽減を検討してほしい。

(事務局)

先ほどお答えしたとおり、公平性の観点から総合的に判断していきたい。

(委員)

フットボールセンターを徹底的に活用するなど、射水市の計画だという特色があるとよりよいと思う。また、指導者を守る仕組みづくりのため資格取得支援はもちろん、ハラスメント防止啓発活動も不可欠である。

(事務局)

フットボールセンターに特化した記載は難しいが、本市の特徴であるフットボールセンターを中心に体育館の活用も必要であると考えている。先ほどから意見をいただいている指導者についても、検討していく。

(委員)

先ほどからいわれている指導者問題について、市内スポーツクラブにはクラブマネージャーがいないクラブもある。どこもスポーツ指導者が不足する中で、スポーツ推進委員との連携が必要になってくる。

(アドバイザー)

素案を読んでいっつか発言させていただく。

まず、総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャー養成は県の広域スポーツセンター事業でアシスタントマネージャー育成講座を行っているが、今年度で終了する。大学でもアシスタントマネージャー育成講座を実施しているので、今後連携していければと思う。

スポーツインテグリティの記載について、指導者が選手時代にインテグリティに欠ける指導を受けるとそれを容認する傾向があるという研究結果があるため、指導者だけではなく今後指導者になっていく世代の選手にも周知していく必要がある。

総合型地域スポーツクラブの加入率の目標値について、スポーツ実施率と比較して低いのではないかと。

「する」、「みる」、「ささえる」の「ささえる」について、単にボランティアや指導者だけではなく、スポーツ団体や選手にクラウドファンディングや寄付など国民がお金を出すといった選択が問われていく時代になる。今回はいいかもしれないが、見直しの時には検討していただきたい。

(事務局)

総合型地域スポーツクラブの加入率の目標値については、新型コロナウイルス感染症の影響で4.1%まで落ち込んでおり、現在回復傾向にある。今後の動向を見て検討していく。

(2) その他

・ 次回審議会の開催について説明

1月下旬に開催予定

【委員からの意見等】

(委員)

eスポーツの市の取り扱いはどうなっているのか。

(事務局)

eスポーツの担当課は決まっておらず、教育委員会としての実績はこれまでない。

(委員)

大門総合体育館の利用が多いのはどうしてか。

(事務局)

大門中学校体育館改修に伴う利用があったためである。

(委員)

スポーツ実施率はどのように集計したのか。

(事務局)

18歳以上を対象に、年齢・構成は考慮した上で無作為に抽出した1000人にアンケート調査を行った。

(委員)

特色といえばパークゴルフがある。パークゴルフを活用し、高齢者向けのスポーツツーリズムを検討してもよいかもしれない。